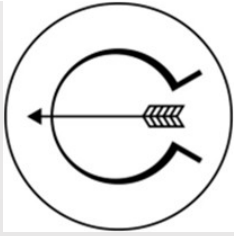


今後の各大会における協力依頼について

《方針》

百射会・記録会、全関東大会における的提出の負担をリーグ戦・新人戦における道場貸出への協力状況に応じて減免する。

この取り組みを通じて、リーグ戦・新人戦における道場貸出への継続意欲の低下を防ぎ、円滑なリーグ戦・新人戦運営を担保する。



今後の各大会における協力依頼について

《現状分析1》リーグ戦参加に伴う負担が一部の協力的な加盟校に集中している。

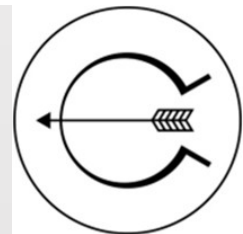
道場貸出校

- ・大会参加
 - ・立合派遣
 - ・道場提供、準備
 - ・備品提供、準備
- 負担が集中

道場非貸出校

- ・大会参加
 - ・立合派遣
- 負担は限定的

今後の各大会における協力依頼について



《課題》 道場貸出への負担が一部の加盟校に集中している現状を放置すると、円滑な大会運営の実現に支障をきたす可能性がある

負担が一部の協力的な加盟校に集中

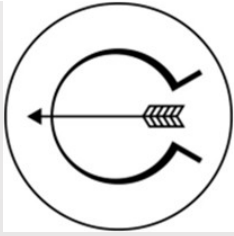


道場貸出への継続意欲の低下



大会運営の不安定化

→円滑かつ持続性のある大会運営に向けて改善が必要



今後の各大会における協力依頼について

《現状分析2》 学生弓道合同研修会にて金銭を絡めた負担分散の提案を行ったが、議論の余地が大きい。

お金による保証は妥当

金額に検討の余地あり

人間的負担を軽減すべき

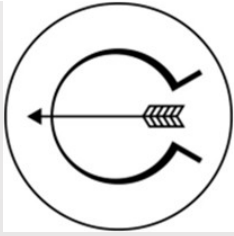
お金による解決には反対

手伝い役員派遣の負担を減らすべき

賛成の立場を示したのが26校、中立的な立場を示したのは17校、反対の立場を示したのは7校であった。（参加校50校）

※議決を採れば可決することはできたが、新制度を導入するのであればより多くの加盟校の理解を得られる形をとりたい。

→以前の総会等にて要望のあった的提出の負担分散を絡めて、道場貸出の負担分散を図りたい。



今後の各大会における協力依頼について

《解決策》 道場貸出に協力的な大学の他大会における的提出の負担を軽減し、道場貸出に協力できない大学に的提出の負担を分散することでバランスを取る。

道場貸出校

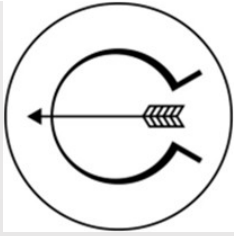
- ・ 大会参加
- ・ 立合派遣
- ・ 道場提供、準備
- ・ 備品提供、準備
- ・ 他大会への的提出の負担減

道場非貸出校

- ・ 大会参加
- ・ 立合派遣
- ・ 他大会への的提出の負担増

→他大会への的提出を絡めた負担分散を通じて、リーグ戦・新人戦の道場貸出への継続意欲の低下を防ぎ、円滑で持続的な大会運営を担保する。

※道場貸出校は的提出の負担が減免されるだけで、“なくなるわけではない”ことに注意すること。



今後の各大会における協力依頼について

※補足・注意点

- ・ 学生弓道合同研修会にて提案した道場貸出負担金制度のような新制度を導入するわけではなく、既存の「大会運営にあたって必要な備品を加盟校より集める」という枠組みの中で負担分散を行う、というものであるため議決等は採らない。
- ・ 手伝い役員派遣は運営上の都合により、道場貸出の負担分散には絡められない。
- ・ 他大会への的提出を絡めた負担分散を採用し続けるか否か、それとも金銭を絡めた負担分散を採用するか否か等については今後の総会にて議論を深化させていく。
- ・ 選抜大会への的提出等についても全日学連との協力のもと負担分散を行う。
- ・ 例年、選抜大会に出場していないのにも関わらず的提出や手伝い役員派遣の負担が課されることに対して問い合わせがあるが、「リーグ戦は選抜大会への予選を兼ねている」ためリーグ戦に参加している以上は選抜大会への協力義務は発生すると判断する。